



【決勝・ジェイリースFC対ヴェルスバ大分】前半、シュートを放つMF島津(9) 大分市のレゾナックサッカー・ラグビー場

ジェイリースが県代表

天皇杯サッカー

サッカーの第104回天皇杯全日本選手権県代表決定戦を兼ねた県選手権(県サッカー協会主催、大分合同新聞社など共催)最終日は12日、大分市のレゾナックサッカー・ラグビー場で決勝があった。

ジェイリースFC(九州リーグ)がヴェルスバ大分(JFL)を2-0で下し、初優勝した。本大会出場を決めたジェイリースFCは26日、

徳島県の鳴門ポカリスエツトスタジアムでFC徳島(四国リーグ)と対戦

する。大分トリニータ(J2)は2回戦から登場し、来月12日、レゾナックドーム大分で鹿児島ユナイテッドFC(同)と対戦する。

▽決勝 ジェイリースFC 2(2010)0 ヴェルスバ大分
▽得点者【シ】島津、深沢

体張り無失点 7年目で初V

2年続けて同じ顔合わせとなった決勝は、ジェイリースFCが創部7年目で初優勝を飾った。前線で数的優位をつくろうと、普段と異なる3・4・3システムで勝利し、柳川雅樹監督は「攻守でバランスの取れた戦いできた。今後に向けて新しい形が一つ生まれた」と満足げだった。

前半は互いに好機を生かせなかった。試合が動いたのは後半8分。MF島津頼盛が「思い切り振り抜いただけだった」とミドルシュートを決めた。30分にはCKにDF深沢卓真が頭で合わせた。終盤は守勢に回ったが、GK岩崎知瑳ら守備陣が

体を張って無失点で抑えた。1回戦に勝てば、J1のC大阪と対戦する。MF今吉晃平主将は「球際の強さや運動量で上回れば全国でも勝てる。まずは1勝して、セレッソにも勝ちたい」と話した。(中丸遼)

経験不足出た

ヴェルスバ大分・山橋貴史監督の話(直近のリーグ戦から先発全員を入れ替え)リーグ戦で悔しい思いをする選手にチャンスを与えたが、経験不足が出てしまった。守備を固めた相手を崩せず、クロスの精度も低かった。